《第40回記念　近畿小学生バレーボール選手権大会》

審判および競技関係　　申し合わせ事項

1　2019年度JVA制定6人制競技規則、小学生特別ルールに準拠する。

2　試合前のプロトコールは、原則、**全試合**を次のように行う。
　合同練習　**5分間**　　公式練習　**各3分間**（合同6分でもよい）
　　＊但し、キャプテンによるトスとサイン・監督のサインは、合同練習後に行う。

3　補助役員（線審・点示・記録）の割当は、審判委員会より提示される一覧表で確認し、試合開始に遅れないよう集合すること。[別紙　審判委員会作成のものを当日配布]
＊記録については成人とする。各チームは、ホイッスル2種類を準備すること。

4　試合が連続する場合、前の試合のセット数が2セットの場合10分後に、
3セットの場合**15分後**に、次の試合の合同練習を開始する。

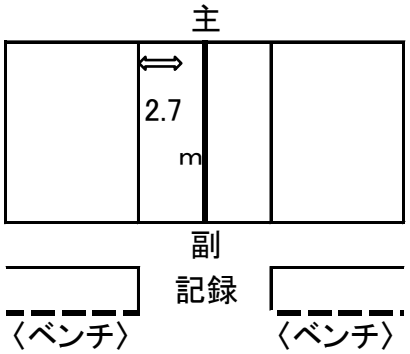
＊合同練習中は隣のコートにボールが入らないようベンチスタッフの協力をお願いします。

5　試合が空く場合や試合が連続する場合のインターバルの間、ボールを使ってのコート練習はできない。もちろん館内の通路やロビーでのボール使用は**厳禁**である。

6　試合順序の変更やコート移動もあり得るので注意のこと。また、試合が長引いて大会終了が遅くなりそうな場合、合同練習やチーム練習をさらに短縮したり、なくすこともあるので注意すること。

7　監督・コーチ・マネージャー章は、左胸部につけること。

8　アタックライン（2．7m）を引き、次にように定める。
・アタックラインと
　ネットまでの区間は
　「競技者の交代ゾーン」とする。
・アタックラインと
　エンドライン延長上までの区間は
　「監督の立ち歩き可能ゾーン」とする。



9　サーブの吹笛で監督はベンチに座るようにする。ボールデッドの間だけ指示を与えることができる。

10　試合中だけでなく、すべての指導場面において暴力（体罰）のないようにすること。
試合前や試合後にあっても暴力行為があった場合、厳罰に処するものとする。また、審判（主審、副審だけでなく線審や点示係も含む）や選手への暴言等がないように十分注意すること。[日小連ガイドラインを適用、ベンチ入りを制限する処置]

11　移籍した選手についても同様、正規に登録された選手を試合に出場させること。手続きの不備や不正についてのすべての責任は監督（指導者）にあるものとする。

12　選手および監督・コーチ・マネージャー・選手の変更は、エントリー用紙届にて受付時に提出しておく。ベンチスタッフ・選手については、日小連登録規定にもとづき、JVAメンバー制度登録メンバーであること。《大会要項ならびに各府県の規定による／コピーを持参する》
＊記録用紙添付用のオーダーシートは2部提出ください。

13　開会式終了後は、登録メンバー以外のアリーナ入場を禁止します。
出入口混雑・安全確保にため、ご協力ください。

14　試合中のベンチ出入りについて
ベンチスタッフは、セット間・試合間、選手は、随時すみやかに行動すること。

15　コート毎もしくは男女別で使用する試合球については本部で決定する。

16　第1試合の開始は、開会式の終了時刻の15分後にプロトコール開始とする。（ただし、競技本部よりアナウンスで指示するのでそれに従うこと。

17　大会当日、開会式後に監督ミーティングを行うので、監督はすみやかに集合のこと。変更事項や競技に関する連絡は監督ミーティングおよび館内放送で行うものとする。

18　A・Cコートは棒笛（長管）、Bコートは太鼓笛（短管）とする。

19　チーム監督は複数チームの監督をすることはできない。また、チームスタッフの服装は統一されていることとし、基準は監督におくものとする。寒冷時の場合、チームスタッフの上着（ベンチコート等の防寒衣）着用を認めるが、**防寒着の下には、統一された襟付きのシャツを着用するものとする。**スタッフ章は見えるようにつけること。

20　選手の出場については、監督は選手の保護者に体調管理が十分なされていることを確認の上、当日の体調にも注意して出場させること。特に伝染性の疾患（インフルエンザ等）については、他者への感染防止のためにも罹患者の大会参加はさせないこと。

21　選手のユニフォームについては選手全員が統一された競技服装であること。寒暖に合わせ準備しておくこととし、選手の健康面を考慮し、半袖の下に長袖を着る**重ね着を認める。**
但し、着用の有無・色・デザインは選手全員が統一されていること。
ノースリーブのユニフォームについては日本小学生バレーボール連盟の伝達をうけ、大会での着用は原則として認めないものとする。
ユニフォームには、競技者番号がユニフォームとはっきりと区別できる対照的な色で、明確に表示されていなければならない。

22　選手の安全確保のため、会場の大きさによってベンチにいすを設置しないことがある。この場合、チームスタッフは床面に貼られたテープ等によりベンチの位置を確認し、座るものとする。（飲料水については、アップゾーンに置くものとする）

23　その他
・館内に設置されているイス（ベンチ）は、体育館利用者の共有の物であるため、独占しないようにする。また、共有スペースにシートなどを敷くことも禁じます。
・天候不順によって、止むなく大会開催を中止することもある。その場合、参加費はチームに返金する。

☆参加した選手が「出場できて良かった」と思える大会でありますようご協力願います。